

産業建設常任委員会会議記録
(条例審査)

1. 日 時	令和6年2月8日 9時30分開会 令和6年2月8日 16時53分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	大西基雄委員長、森本富夫副委員長、栗山泰三委員 堀毛宏章委員、渡辺拓道委員、山田潔委員、小島政行議長
4. 欠席議員	なし
5. 参考人	なし
6. 傍聴人	なし
7. 会議に付した事件	議案第6号 丹波篠山溪谷の森公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
8. 議事の経過	<p>開会 9 : 30</p> <p>大西委員長 開会宣告</p> <p>大西委員長 あいさつ</p> <p>■議案第6号 丹波篠山溪谷の森公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について</p> <p>農都創造部（森づくり担当）</p> <p>【主な説明】</p> <p>森づくり課より議案説明資料に基づき説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>栗山委員 施設の料金の変更についてはよく理解させていただきました。ただこの周知に関して、今回は施行期日を令和6年7月1日とされておるんですが、もう少し早くできるんじゃないかという気がいたします。例えば5月1日。そうしましたら3月、4月の2か月間で周知ができて、5月の連休からの施行でいいのではないかと思いますかどうか。</p>

農都創造部（森づくり）	<p>現在、通常の予約の受付が3か月前の1日ということで運用しております。施行日は3か月前の1日から受け付けに合わせました。というのは、今、御提案の5月からの施行になりますと受付のタイミングとずれてきますので、受け付けの説明時に混乱が起こったり説明ミスが起こる可能性もありますので、7月1日の施行日とさせていただきます。</p>
渡辺委員	<p>16年間のデータも資料として提出していただいているんですけども、こちらが知りたいのは、年間を通して利用の多いときとか少ないときとかがあったりするんですけども、その辺りの年間の稼働状況は、直近でどういう状況になっているのか説明頂けますか。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>手元に細かい数字がないんですけども、1番よく使われるのはゴールデンウィークとか夏休みの期間で、平日でも結構キャンプサイト、コテージの利用があるようです。ただ、そのハイシーズンの時期を外れますと、土日の利用で平日の予約がないという状況です。それがだんだんと年を経るごとに申込みがない日が増えてきて、利用状況の減、経営の圧迫につながっておる状況です。</p>
渡辺委員	<p>ちなみにゴールデンウィーク、夏休みそれから土日は、おおむね7割8割とか、もう一杯になる状況なのか。ハイシーズンでも空いているのか。その辺りはどのような状況ですか。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>指定管理者へのヒアリングではハイシーズン、土日も、コテージ等が結構人気ですので、7棟すべてがすぐ一杯になるという状況です。ハイシーズンじゃないときに空室がちょっと目立ってきていまして、二極化しているような利用状況です。</p>
渡辺委員	<p>コロナの影響とかで経営的に苦しいというようなことですが、こういうアウトドア系の施設はコロナでも、グランピングみたいなのところも最近ありますし、結構、人気がある状況が続いており、キャンプだけでなく、たき火のブームとかもあったりして利用ニーズは強含みで推移しているのではと思うわけです。その辺りのニーズをうまく取り込めてない部分があるので、単に料金の値上だけでいいのか。もう少し工夫もいるのかなと思ったりもするんですけども、その辺り</p>

<p>農都創造部（森づくり）</p>	<p>について、担当課としてどういうふうに認識されていますか。</p> <p>私どもの認識ではコロナ禍で人間の活動量が減ってきたことが、溪谷の森公園にも大きく影響を与えております。一方で、コロナ禍にあっても釣り客が増えたと聞いておりまして、ハイマート佐中さんはテントサイトが中心ですが、ダムを併設しておりまして釣りとおわせて利用客があり、ほとんど利用者数が減っていません。そういうコロナを気にしないのでできるものがセットであるようなところに関しては、そこが強みとなって利用者を増やしているような状況もあったのかなと思います。そうしますと、平成12年に開業した溪谷の森公園は当時のままの施設なので、昔のように自分がテントを持ってきて、自分の道具をそこで出してというようなスタイルがいいという方もいらっしゃると思うんですけど、昨今はグランピングのように手ぶらで来て一時の非日常空間で過ごすことも人気が出ております。</p> <p>また、カップルというような単位での利用が増えてきております。溪谷の森公園ではファミリーの利用が少なくなっていて1人の利用が増えております。最近はソロキャンプで火の揺らぎを1人で座りながら見るようなことも流行っています。</p> <p>今後も、例えば家族でキャンプをしている職員の意見などを聞いたりして、できることから反映させて、費用をあまりかけずに今のトレンドにあった集客できる魅力アップを管理者と協議をしながら状況打破ができるように取り組んで行きたいと思います。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>市が指定管理に出して利用料金制という中で、管理者も工夫もしながらしなければならないということで取り組んでいただいているのですが、ちょっと管理者の自由度が低いのではないかという感じもします。平成12年に比べアウトドアのニーズも全然変わってきています。民間も含めてこういう施設については、いろんな工夫をしているところがありますし、また最近ではハイシーズンとかについては、主に宿泊を伴うような旅館業、それからこういったキャンプ、コテージについては、平日料金と土日の料金と、また、ハイシーズンさらにトップシーズンみたいな形の料金区分をしているようなと</p>

ころもあります。それでもやっぱり行きたいところには少々払ってでも利用するようなことが普通になってきているので、もう少し指定管理者の自由度があるような形もいいのかなと思っています。担当課としては、そういった指定管理者が民間のいろんなノウハウとかをうまく発揮して経営してもらおうという方向で考えておられるのではと思いますが、いかがでしょうか。

農都創造部（森づくり）　まさしく指定管理者制度を導入しているのは民間のノウハウを発揮していただき、市直営ではできないことをやっていただくということです。おっしゃるとおりでございます。

現在、指定管理者と話しているところで、今まではどちらかというと場所貸しといいますか、利用者が自分の好きなようにその場所で過ごして楽しむということでしたが、最近、西紀のやまもりサーキットさんもキャンプ施設ですが、無料の子ども用の足こぎペダルのバギーがあって、それがお客さんと呼んでいるところもあったりしておりまして、テントで泊まるだけでなく、いろんなプログラムを提供されています。ほかにもアロマ体験など、そこならではの体験をセットで提供されています。

そういったことが溪谷の森公園でもできないかということで、地域おこし協力隊の方がトウモロコシからつくるトルティーヤの提供をしてはどうかとかいうような提案をされています。これは溪谷の森公園だけでなく、後川地区の地域おこし協力隊の活動の中で提案されていますので、積極的にそういった提案も受け入れてはどうかということもお話しさせてもらっています。

もう一つは、溪谷森公園の裏山を超えたところに座禅ができるお寺があります。20 分程度で行き着くところでして、キャンプと座禅というのが受けるかどうか分からないですけども、そういった地域の資源をセットにすることによって、新しい過ごし方も提案できるのではないかと考えています。

また、溪谷の森公園のインターネットの記事の書き込みを見ていると市外になるんですけど、奥猪名健康の郷とセットで利用するという利用者の声もありましたので、それを利用者任

せにするのではなくて、近隣にある施設とのタイアップをすることで両方の集客が図れるというようなことも今後やっていければと考えています。

それから現在は施設が傷んだから原状に直すという対応しかできてなかったんですけども、市としてもハード整備について必要と思われるところについては行って、今までとは違う溪谷の森公園になるようソフト・ハードの両面で検討してまいりたいと思っています。

渡辺委員

市民が使う施設であればハードにも投資して、市民のためにとと思うのですが、やっぱり市の公共施設の適正化も今後は考えていかなければならない中で、独立できるところは独立していったほうがいいと考えています。その離陸に当たっての必要なハード整備は幾らかしなければいけないかもしれませんが、基本的に恒常的な維持管理費くらいは何とか工夫して産み出せるような運営をしてほしいと思っています。もっと運営しやすい環境をつくってあげることをもっと考えていかなければならないのではないかと思いますので、ちょっとハード整備の考え方にはあまり賛同はしていません。

森本副委員長

追加資料の表を見ておりましたら平成 20 年度の総売上額が 2,943 万円そして令和 4 年度が 1,987 万円とほぼ 1,000 万円の売上げが下がっており、これは厳しいなと思っています。人件費もそうですけど、指定管理ですので電気代も水道代も指定管理者が負担していますので、把握されているかどうかわかりませんが、どれぐらいの利益率や原価率なのでしょうか。

農都創造部（森づくり）

原価率などは計算できていませんが、売上げが少なくなることによって人が置けなくなって人件費等を削ってしのいでいる現状です。利用者数も右肩下がりになってきて、もうちょっところえ切れない状況になっています。指定管理者から聞いているのは人件費が収入の割合の中で大きくなってきたのと収入が下がってきているというのが今回の条例改正を提案するに至った 1 番の原因です。

森本副委員長

これまで利益の内部留保が幾らかあるのか。急な補填をするために当然、何か貯めていらっしゃると思います。経営と

	<p>というのは良いときもあれば悪いときもある。そのような資金について把握されているのか。その辺りのことを確かめておきたいです。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>後川の郷という株式会社をつくるまでは、管理委託ということで、任意の地域の組織で管理委託をされていました。そのときに地域で幾らか手持ち資金ということでお持ちです。当初は手持ち資金に上乗せするような利益があったように聞いておりますけども、それがだんだんと減ってきて手元資金までも下がってきているようなところに来ております。</p>
渡辺委員	<p>担当課では毎年の決算書などで把握されていないのでしょうか。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>毎年、報告は頂いております。その中で収入と支出でマイナスとかプラスとかをまとめた収支の差額の表が手元にありまして、令和5年度は単純に収入から支出を引いた金額で124万5,008円になっていますが、直近で言いますと令和3年度では逆にマイナスの160万円に決算書上の数字が出ているような状況です。</p>
森本副委員長	<p>先ほどの私の質問の際にも、そのような答えをいただきましたかっと思っております。各分野の売上げが分る表をお持ちで、決算書をお持ちであるならば、そういう資料も当然に報告をすべきで、それを基に検討してくださいというのが筋ではないかと思うんですが、いかがですか。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>大変申し訳ございません。利益率という言葉に対してどのようにお答えしたらいいのかと思いましたので、十分な回答ができませんでした。</p>
森本副委員長	<p>同じこと繰り返しますが、決算書を預かっていらっしゃるのであれば、説明資料の中に毎年の数字を当然に入れるべきですよ。入場者数からオートキャンプ、コテージの売上げや人数を丁寧にまとめている資料はありますけれども、1番大事な収支を入れていないのは感覚的にちょっと理解ができません。経営が厳しいということは、こういう数字で厳しいのですということを出さないと理解が出来ないと思いますが、いかがでしょうか。</p>
農都創造部（森づくり）	<p>大変申し訳ございませんでした。手元で説明するための資</p>

	料として置いていましたが、追加で資料提供させていただきたいと思います。
山田委員	せっかくですから損益計算書だけではなく、貸借対照表も見せてください。
大西委員長	資料の提出をお願いします。 (休憩、追加資料の提出あり)
大西委員長	休憩前に引き続き、会議を再開します。追加資料の説明をお願いします。
農都創造部（森づくり）	<p>最初にお配りしましたA3の横長大きな表につきましては、丹波篠山溪谷の森公園の平成20年から令和5年の途中までの収入と支出を総括した表になりまして、収入合計と支出合計をそれぞれ書いております。1番下の欄の収支決算は過去15年の分の年度別の差引きをしております。平成20年から令和4年度の収支の合計につきましては、マイナス196万26円の赤字になっております。</p> <p>先ほどありました支出に対する人件費（賃金）の割合については、その下にそれぞれ0.46、0.44などの数字で示しております。その下には支出に対する需用費として消耗品、燃料費、電気代、水道代、修繕料等の合計について、支出の中の割合を示させていただいております。これを見ますと人件費は約45%から50%で推移をしております。最低賃金も参考に上に示させていただいております。</p> <p>追加で提出をさせていただきました貸借対照表につきましては株式会社後川の郷の平成30年3月31日末から令和5年3月31日末の総会資料に添付してありました表になります。最新の令和5年3月31日現在の貸借対照表をご覧くださいと、もともと株式会社後川の郷ということで、後川の各地域からの出資金2000万円が純資産合計で1756万5,255円となっております。</p> <p>また、後川の郷では溪谷の森公園以外にも独自事業をしております。先ほどお示した平成20年から令和4年までの表のマイナス190万円と貸借対照表の差額250万とが一致しておりません。若干誤差が出ておりますが全体としては資本金を割り込んでいるというような経営状態になっております。</p>

渡辺委員	後川の郷ではどのような独自事業をされているのでしょうか。
農都創造部（森づくり）	農家さんが持ち込まれた農作物を売店で販売している事業などをされております。そういう費用も後川の郷として貸借対照表に計上されております。そういった野菜などの販売業務の分については、追加資料として提出した溪谷の森公園の収支の表の中には反映されていませんので差が生じています。
渡辺委員	<p>資料を見せていただいて、いいタイミングで条例改正の提案をしてもらって良かったなと思っています。施設の維持について、指定管理者である程度しなければいけない分の修繕費もちょっと出せないような状況になってきている中で、追加資料を見ているとまだどうしようもないという状況ではないので、本当に経営の工夫をされたら十分、人件費とかも払えるような状況になるのではと思います。</p> <p>それで、法人組織にされていますが、地元の方が中心になって何とか地域の活性化のためにということで活動されています。経営的なことについては料金をどうこうするだけではなく、ハードの支援ではなくてコンサル的な助言をしてもらうような仕組みを作ってもらったらまだまだ盛り返せると思います。そういった経営的な助言みたいなものについて、後川の郷では受入れてもらえるような感触でしょうか。</p>
農都創造部（森づくり）	具体的に会計士とかコンサルタント会社という話はしていませんけども、今回の条例改正を提案するにあたっては、社長や社員の方もいろんな話を聞くという姿勢でいらっしゃいますので受入れていただけたと思います。市としてもできる支援をやっていきたいと考えます。
栗山委員	今回、条例で値上げということですけど、その試算をされているのではと思います。単純に利用者に料金を掛けるだけでも算出できると思いますが、今回の改正による試算でどれだけの利益を生むのかが見られたらうれしいです。
農都創造部（森づくり）	細かい計算はできていないんですけども、年次的に経営が厳しいという話はヒアリングの中で聞いておりました。それを打開するにはどうしたらいいかというようなヒアリングの

中で、今の料金を 10%上げて収入も 10%上げていかないとマイナスの経営となり厳しいというお話を聞きまして、まず 10%は確保しないといけないという認識をしています。そして、10%のアップで当面だけをしのげばいいというわけではなくて、インフレ傾向でいろんな物価や人件費も上がってきていますので、10%上げてもうすぐ追いついてしまって、また同じような手続を踏まなければならないと予想されます。ですので、市内部でも検討した結果、当座の 10%の見込みながら、さらにもう 10%を見込み 20%アップの料金改定をしたいと考えました。今回 20%上げた料金改定を近隣の施設と比べますと、単純比較はできないんですけども、利用者にとって高い料金になってはいないと考えております。市としては今回の 20%上げることは妥当な金額として判断しており、当面の運営の中では 10%の料金アップを考えております。

栗山委員

説明は理解できるんですが、平成 20 年から令和 4 年までで 196 万円の赤字が出ているんです。この赤字を今度の値上げでプラスに持っていく考えだと思います。片方ではこの売上げを確保しながらお客さんにも来てもらう必要があります。スタッフの方々は一生懸命頑張っておられると思うのでお客さんも来られると思いますが、客商売ですので、もうこんな高い料金では利用しないと言われると話になりません。最高人数 1 万 1,000 人が今は 6,000 人台となっており、かなりコロナで減少しているのが現実ですけど、1 万人ぐらいは恐らく見込める可能性も持っていると思います。こんな皮算用をしても仕方ないのですが、やっぱり人が人を呼ぶので頑張っていたきたいと思います。なかなかしんどい経営をされているのがよく分かりますので、最後はスタッフの皆さんの努力だと思っています。

そして最初に言ったとおり、値上げ分がしっかりと確保できるのかという試算表がないので何とも分からないところがあります。その辺のことについても示していただいたらありがたいと思います。

農都創造部（森づくり） 提示できる資料が不十分で申し訳ございません。単純に今

の利用者数が確保できたと仮定して、今回 10%利用料金を上げることで、単年度では今の累計の 190 万円の赤字を埋めることはできないですけども、2 年ほどに渡れば単純計算でマイナスは解消できると考えております。

それに、先ほどもありました。今までの溪谷の森降園とは違う魅力を発信して、議員がおっしゃるように 1 万人に向けて集客を増やすように、市としても共同で運営改善を図ってまいります。

大西委員長

それではほかにはないようですので、これをもって質疑を終了したいと思います。

議員協議

渡辺委員

今回条例改正に合わせて、溪谷の森公園の経営的な数字も幾らか出させていただいて良い機会になったなと思っています。質疑の中でも幾らか話をさせていただいたんですけども、やはりここは利用者が市民ではなくて市外の方に来てもらって楽しんで帰って頂くというような施設です。本当に今後、市の財政も人口減少とともに厳しくなっていく中で、このような収益がある程度、見込める施設については、やはり市がいろんなハード整備とか修繕とかもできるだけ少なくなるような形の経営をしていってもらわないと、なかなか市民の理解も難しいような時代に入っていくと思います。そういった意味において、今回、条例改正案では、昼間のデイキャンプといいますか、その辺りの料金を具体的に設けるということ、それから全般的に利用料金の上限額を 2 割アップにしたいという提案であると思っています。昼間の利用の料金を新たに設定するというのは経営の自由度も上がるということで良いことだと思います。ただ、2 割アップをすることについて、今の利用状況を先ほど質問で確認をすると、いわゆる繁忙期とか土日については満杯になるくらいの利用がある。しかし、平日についてはほぼないというような中で、また、類似施設において年間一律の料金を取っているところも大分少なくなっていることを考えると、これまでと同じような形で、平日でも休日でも利用が多い時でも少ない時でも料金を一律で 1 割、2 割上げるよりも、もう少し工夫をした料金設定をして、ニーズの高い時期については、しっかり取れるところまで取る、

平日の部分についても利用が全然ない時期については、幾らか下げるということも経営的に考えてもいいのかなと思います。いずれも経営は指定管理者が考えることではあるんですけども、それを考えてもらうときに、トータルとして10%の売上げを上げていこうという工夫をする中で、今回の2割の上限だけでうまくできるのかというと、私はなかなか難しいのかなという感じを受けています。

ちなみに、平日とハイシーズンで倍ほどの値段に差をとっているところもあったりするんですけども、ただ公共が設置しているというところで余り無茶もできないかなとも思っています。近隣では丹波市に最近、「森のひととき」というキャンプ場ができて、コテージもあって運営されているんですけども、そこは余り利用の少ない時にはコテージ2万6,000円で、利用が1番多い時の料金は4万1,000円と、大体1.5から1.6倍の差をつけて値段設定をされていますが、それでも結構たくさん入られている状況にあります。ただ、施設の新しさということもあるので同じようにとはなかなか難しいかもしれませんが、そういうようにうまくやっている例もあるので、私としては、一律で上げるよりは、いろんな工夫をしながらトータルで1割の売上げを上げるような工夫ができる条例の環境整備をしてあげるほうが良いのではないかなと思っています。ですので、今回の2割というのは一時的にはしのげるかもしれませんが、もっと経営の工夫もしていただきたいということもあって、なかなか議員で条例を書くというのも大変ですけども、上限を5割ほど上げたような条例をつくっておいて、必ずしも5割まで上げた料金設定をする必要ないんですけども、その中で工夫ができる環境をつくってあげるほうがいいのかなとも思っています。このまま2割アップを通して、ちょっと制約をかけた中で経営改善をしてもらうよりも余裕を持たせた中で工夫をしてもらえたらどうかと感じましたので、皆さんのご意見も伺いたいと思います。

森本副委員長

私も渡辺委員と同じような思いを持っておりまして、いつまでも行政に助けてもらうというか、今回の件に関してもそうですけども、今までの時代からひとつ脱却をしてもらう。自分ら創意工夫をしてもらう。料金を上げたかったら自分らで上げて、下げたかったら自分らで下げる。そして経営努力をしっかりと利益が上がればと思います。人件費もどんどん削り、そして役員さんの報酬もゼロになっておるよ

うな今の状況から自らの創意工夫で脱却をしてもらおう。その第 1 段階として裁量の幅のある料金設定で創意工夫、経営努力をしてもらおうのが、これからの方向性ではないかなと思いますので、私は今のご提案に賛同させていただきます。

堀毛委員

渡辺委員のご提案と基本的に同じ考えですが、入園料については変えない方がよいと思うんです。変えるのは、トップシーズンとか土日について、コテージとかオートキャンプの金額になるかと思います。それを一定の範囲で指定管理者の経営手腕によって価格設定ができる。その範囲が 5 割がいいのか、3 割程度がいいのかというのは条例できちっと謳うべきじゃないかと思います。当然その上と下とではかなりの金額の差が出てくるので、どの範囲がいいのかという議論が必要になるのかなと思います。

それで、ここは市の施設ですので、指定管理者との契約で、例えばこの修繕費についてどのような取り決めがあるのか分かりませんが、修繕費をずっと見てみると、最近非常に修繕が少ないんです。ですから、経営が悪化したので必要な修繕ができていないのではないかという懸念が残ります。そうすると利用者の安全とかにも関わって来る可能性がないわけじゃありませんので、その辺りもきちっと把握した上で、市の負担すべき内容と金額、あるいは指定管理者が負担すべき内容の金額について、もし変更が必要であれば変更もする必要があるかと思います。

大西委員長

今ちょっと調べていただきましたら 10 万円を超える分については市が負担 10 万円以下の場合は事業者で見るということになっておるようです。そういう基準はあるということですので、御了解頂きたいと思いますが、おおむね渡辺委員のご意見に賛同ととらせていただきました。

山田委員

利用料金の平日と土日のシフトは、ぜひ取り入れていただきたいというのは僕も同感ですが、この条例の第 9 条第 4 項との関係を整理しておく必要があるのかなと思います。この第 9 条第 4 項の利用料金減額というのは、そういう利用者が少ない平日に料金を減額または免除することができることに使えるのかどうか。その辺は、先輩議員の皆さん、どういうお考えなのかちょっとお聞きしたいです。

渡辺委員

この第 9 条第 4 項はよほどのことがなかったら適用はないと思っています。例えば例えば福祉団体が施設を使って何かをするというよう

	<p>なときに、市に減免の申出があるというような特段の理由があるとか、子どもたちを育成のための政策的目的のために減免するというようなときにすることであって、通常は第9条第2項「利用料金は別表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする」ですので、必ずしも、上限額を上げたからといって指定管理者が勝手に料金を設定できなくて、その範囲内で、例えば平日と休日の料金を変えたいと思うんですがということで、実際の事務的には担当課と相談をして、市の了解が得られなければ上げられないということになっています。</p>
栗山委員	<p>できるだけ現場の裁量に配慮するのがいいと思います。市の建物でするのである程度、幅を持たせるのは賛成です。今も努力されて人件費の部分で、平日と土日の部分をうまく配置シフトを考えてやっていただくようなこともされているとは思いますが、やはり人件費が固定費としてかかってくるので、そこを減らさない限りは利益出をしていくのは難しいと思いますので、責任者がその辺は考えていただけたらと思います。条例の幅を持たすという考えは私も賛成です。</p>
渡辺委員	<p>皆さんご賛同頂いたのでありがたいんですけども、堀毛委員が言われた入園料は、ほかのキャンプ場とかでどういう形で取っているのかも分からないし、これも一律に上げることについては皆さんどう思われますか。</p>
山田委員	<p>レストランを利用するだけに来た人が支払う入園料ではないかと想像したんですが、どうでしょうか。</p>
大西委員長	<p>食事をしにきた人から入園料はとらないと一般的には思います。やはりコテージ、オートキャンプ、デイキャンプ、バーベキューとかを利用しに来る方から頂くものかと思います。</p>
堀毛委員	<p>昔、ユニトピアでは入園料を取っていたので、溪谷の森公園もレストラン利用するといっても、溪谷の森公園内を多分散策されるわけですから、その入園料という位置づけじゃないかと推測します。</p>
大西委員長	<p>ここでは分からないまま議論しても進まないなので、そこだけ確認をしたいと思います。暫時休憩させていただいて確認をとらせてもらいます。</p>
	<p>(休憩)</p>
大西委員長	<p>会議を再開いたします。レストラン利用には入園料はかからない。キャンプサイトやコテージなどの利用者へかかるということを確認し</p>

ました。

それでは先ほどからいろんなご意見頂きまして、事業所にしてもいつまでも行政に頼るだけじゃなく、自分たちで自立をしていただくという意味を込めまして、そしてある程度の幅を持たせて、繁忙期等に対応していただくということは、委員の中では一定理解できたのかなと思っておりますので、修正案を出す方向で行かせていただきたいんですが、今日は時間的にも大変厳しい時間になっておりますので、日を改めてこの件について協議させていただきたいと思いますが、その方向でよろしいでしょうか。

(異議なし)

大西委員長

それで次回は2月13日の朝9時半から会議をさせていただいて、修正案についてご協議いただきたいと思いますと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

大西委員長

それで次回は2月13日9時30分から委員会を開催いたします。

森本副委員長 あいさつ

閉会

16:53